CLOSE UP!

「街づくりの家系に生まれた私にとって、皆が笑顔になれる良い街をつくることが使命。街や人がどう回るか、どう動くか。広い視野で考え、形にしていきます」

対談記事 ▶▶ 101p

深津産業 株式会社

代表者 **深津 栄一**

Guidelines for business

街づくりに深く関わった祖父、父の思いを受け継ぎ、「地域から必要とされる企業でありたい」と常に考える深津産業（株）の深津栄一氏。氏には今、２つの構想がある。１つは地元の企業を退職した人々が、定年後も同じ地域で充実した生活を送れるような仕組みをつくること。そしてもう１つは、地域の子どもたちが稲作・野菜づくりを体験できる農業体験事業をつくること。「地域の方に喜んで頂ける事業を増やしていくことが自らの使命だと思う」と力強く語る深津氏は、１歩ずつ着実に理想の実現へと歩みを進めていくことだろう。

心と笑顔の交流を生む
Interview
サービス

皆様と明日の街並みづくりを応援します

深津産業 株式会社

〒 471-0855
愛知県豊田市柿本町 8-52
TEL 0565-28-1311 / FAX 0565-28-5002
URL http://fukatsu-sangyo.com/

何でもお気軽にご相談下さい！

■不動産売買仲介 ■遺品整理・生前整理 ■相続鑑定
■リフォーム・塗装・エクステリア ■倉庫業 ■清掃管理
■不動産賃貸管理 ■古物商取引 ■経営コンサルティング

Company data

賃貸不動産経営管理士 / 遺品整理士
相続鑑定士 / 生前整理アドバイザー
代表者　深津 栄一

1970 年に設立した、農業と不動産業を手がける深津産業（株）の３代目として生まれる。父親がさらに事業の幅を拡げ、街づくりに勤しむ姿を見て、自身も学生時代から事業継承を意識するように。学業を修了し、金融機関に８年勤めた後、家業に参画した。

Personal data

企業や店舗の誘致で地域を活性化 住民が喜ぶ顔を生み出す街づくり

水野　深津代表は、深津産業（株）の３代目でいらっしゃるそうですね。

深津　創業者にあたる祖父は庄屋の家に生まれ、戦後の農地改革で、土地を小作人に譲り渡すことになったと聞いています。その後、山を開墾して街づくりに勤しんだことが、今の事業に繋がりました。

水野　現在はどのような事業を？

深津　不動産業が主ですが、ただ土地を貸すのではなく、街づくりの観点から地元になくてはならない企業や商業施設を誘致するのが弊社の方針です。例えば地元に深い繋がりを持つ自動車メーカーの販売店や、大手薬局グループ、病院などの法人に土地を提供しています。

　また、他にも相続鑑定やリフォームなど、様々な事業を手がけています。遺品整理・生前整理は、私が弊社に入ってから新たに加えた事業です。前職で金融機関に勤めていたとき、相続資産を持つ多くの高齢者の方と接したのですが、生前整理のアドバイスといった金融機関や税理士が対応できない悩みを持つ方が多いことに気付きました。そこで、弊社がカバーできればと考えたのです。

水野　本当に地域の方の生活に密着した事業を手がけていらっしゃるんですね。

深津　ええ。私は、事業に必要な「人・物・お金」の３要素のうち、第一に人、次に物、最後にお金という優先順位をつけて考えます。この順番を守らずにつくったものは、真に地域のためにはならないと思うからです。

水野　では、お仕事をされる中でやりがいを感じるのはどんなときでしょう。

深津　やはり、地元の皆様の笑顔を見られたときですね。以前、大手薬局グループと病院を誘致したことで周辺に製薬会社や整形外科、特別養護老人ホームなどができたことがありました。すると、地域の方に「便利なお店や施設ができて良かった」と言って頂けたんです。こうした声を聞くと、本当に嬉しく思いますね。

水野　「この土地にこういう施設を誘致しよう」というイメージは、どのようにして得られるものなのですか？

深津　土地を見ていると、自然と地域循環のイメージが湧くんです。また、妻の指摘も大きいです。街づくりとそこに住む人々の生活は不離一体なので、妻のアイデアは非常に価値あるものなんです。

水野　女性は生活者視点に特に敏感ですからね。また、地域循環とは素敵な言葉です。通常、経営者は自社の利益のみを考えますが、代表はお店や施設をつくると街がどう回るか、人がどう動くかという部分まで考えておられるんですね。

深津　それこそが、街づくりの軸となる発想だと思いますから。それと、このあたりの地域は農家が多いのですが、後継者不足により休耕田も少なくありません。かといって市街化調整区域には住宅が建てられませんから、買い手もつかない。しかし、コンビニエンスストアや物流倉庫、工場等は調整区域にも建てられるので、今後はそうした企業と農家の橋渡しも行いたいですね。

Guest Comment
水野 裕子（タレント）

私の故郷、一宮市にも休耕田があります。農家の知人に話を聞くと、減反政策や米離れで農業を続けていくのが難しいとのこと。そうした深刻な悩みの解決を考えてくださる深津代表は、地域住民にとって本当に心強い存在でしょうね。今後も地域の方が心から笑顔になれる街づくりを進めていってください。私も応援しています！